LaserActive™
MEGA LD

PIONEER

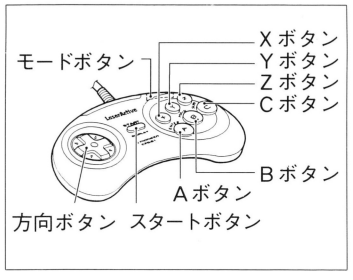
SUPER REAL 3-D SHOOTING

南大西洋に浮かぶ島々の中に、軍事展開を目論むジェイ国が、
秘密軍事基地を構築、武装集結している事が探査衛星により確認された。
国際連合に加盟していないジェイ国に対し、政治的交渉の術もなく、
ただ事態を衛星による監視にとどめるしかなかった。
ある年の夏、化学調査班の厳密な調査報告によれば、
島の南東に位置する基地の中に中距離型核ミサイルの発射施設らしき建物が確認された。
翌年、我々は密かに特殊部隊を派遣、核ミサイル発射施設の破壊を試みるが派遣後間もなく、連絡が途絶えた……

そして、これまで多くの極秘破壊任務を遂行してきた特殊攻撃ヘリコプターチーム「HI-ROLLER」に登録しているあなたに招集命令が届いた。
X-day深夜、ステルス性能を備えた上陸船「Sea Shadow」は、
我々を上陸させるとともに戦闘ヘリコプター「AH-1S」、武器弾薬を陸揚げし漆黒の海へと消えて行った。

サテライトシステムの示すポイントを目指し我々は、深夜の森を前線基地「K1」に向け進んで行った…
翌朝、我々の目の前にK1基地が姿を表わしていた。

ディスクをセットします。
オープニングCGをスキップしたい場合はSTARTボタンを押して下さい。



コントロールパットについて▶

ゲーム開始/兵装選択/戦闘中などにより用途が異なります。

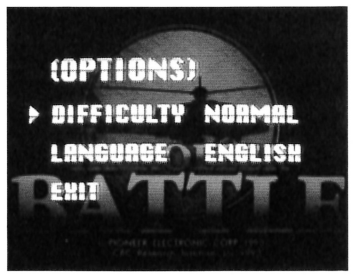
START button：このボタンでゲームが開始されます。
またゲーム中はポーズ(一時停止)に使用します。

戦闘中▶

A button：20ミリM97バルカン砲発射
B button：ターレット内各種ミサイル(MLMS, TOW, HPX)発射
C button：防御兵器起動
X button：(今回は使用しません。)
Y button：ターレット内攻撃兵器選択
Z button：防御兵器選択
方向ボタン：各種兵器の照準制御

非戦闘中▶

A button：決定及び進行
B or C button：キャンセル及びスキップ
方向ボタン：選択



ゲームのスタート▶

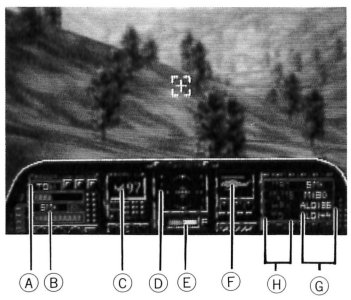
タイトル画面の後に「START/OPTIONS」が表示されます。方向ボタンでいずれかを選択し、Aボタンにて決定します。

①「START」：ゲームが開始され最初のミッションに進みます。初期設定は「NORMAL/ENGLISH」です。
②「OPTIONS」：設定内容は次の通りです。

●DIFFICULTY

モード	飛行コース	クレジット	燃料
PRACTICE	A, B, C, D	3機	無制限
NORMAL	A, B, C, D, E, F, G	3機	無制限
HARD	A, B, C, D, E, F, G, Ending	3機	設定値

●LANGUAGE：ミッション説明時の日本語/英語の選択ができますが途中での変更はできません。
初期設定はENGLISHです。
●EXIT：タイトル画面に戻ります。
※HARD MODEの時に、ミッションを成功した場合のみ、エンディングが見られます。ぜひ、トライして下さい。



コックピットについて▶

A：選択中の攻撃系ミサイル/ロケットを表示。
B：選択中の自衛システムを表示。
C：機銃の加熱度を表示。
D：(集中警告スクリーン)敵機からのロックオン方向を矢印にて表示したり、自機の状態を表示。
E：自機の燃料ゲージ。(HARDモードのみ機能します。)
F：自機のダメージレベルを表示。(全て赤に変るとゲームオーバー。)
G：搭載している自衛システムの稼動状態の表示及び防御兵器を表示。
H：敵機からの攻撃モードを表示。

基地について▶

作戦司令室(COMMAND)

補給庫(ARMONY)

発着場(HELIPORT)

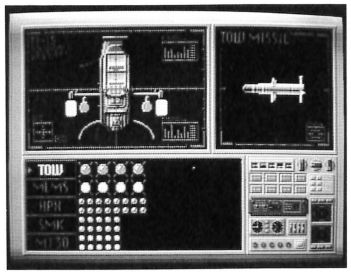
ゲームを開始すると基地画面が登場します。方向ボタンで選択、Aボタンで決定します。また、Bボタンでキャンセルできます。構成は次の通りです。

作戦司令室(COMMAND)▶
左に目標ターゲットの赤外線写真、右に飛行コースがミッション毎に表示され、ナレーションにて説明されます。(初期設定にて選択した言語にて)。ミッションの説明が終了すると自動的に基地選択画面にもどります。

補給庫(ARMONY)▶
それぞれ攻撃武器/防御兵器を選択します。ここでは方向ボタンで兵装の増減が行なえます。

発着場(HELIPORT)▶
戦場へと進みます。

攻撃・防御について▶



攻撃について▶
①M97：10秒間以上連射すると、銃身が加熱してしまい5秒間は発射できなくなる。
②TOW：敵ヘリに命中した場合、一撃で撃破。
③HPX：敵ヘリに命中した場合、一撃で撃破。
④MLMS：敵ヘリに命中した場合、一撃で撃破。

防御について▶
①M130：妨害電波で電子誘導用兵器を攪乱する。
②SMK：自機の回りに煙幕を張り敵機を攪乱する。
③ALQ136：妨害電波でレーダー誘導用兵器を妨害する。
④ALQ144：赤外線誘導用兵器を妨害する。

敵攻撃の種類▶
戦闘中の敵からの攻撃は次の2種類があります。
前方敵機からの攻撃：前方から数々の敵が飛来してきます。近づいてくる前に撃破しないと機銃にて攻撃をしかけてきます。これらの攻撃は、すべて自機のダメージとなりますので注意して下さい。
後方敵機からの攻撃：コックピット中央の集中攻撃スクリーン内に敵攻撃方向を示す矢印が警告音と共に表示されます。同じくコックピット右側に敵からの攻撃を示すランプが示されます。それに合わせて防御兵器を決定して下さい。防御兵器の種類は、Zボタンで選択しCボタンで制御(ON)できます。制御が間に合わなかった場合ダメージを受けますので注意して下さい。

兵装対応表▶
各兵装武器は、ミッションの特徴などから適切な兵装をすることが望まれます。また敵機からの攻撃についても有効な防御兵器を選択しないと簡単に敵機に撃墜されてしまいます。次の対応表を有効に使い敵機を撃墜して下さい。

	SMK	ALQ-136	M130	ALQ-144
M97	◎	×	×	×
TOW	×	×	×	◎
HPX	×	◎	×	×
MLMS	×	×	◎	×

◎有効　×無効

CONTINUEについて▶

①敵機からの攻撃を受け自機が爆発した場合
②HARDモードで搭載燃料が無くなった場合
③目標の撃墜率に達しなかった場合
以上をミッション不成功とします。尚、③の場合クレジット機が減ることはありません。クレジットが残っている場合は続けて同じミッションを行なえます。カウントが「0」になる前にAボタンを押して下さい。

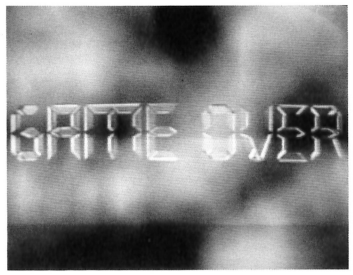
MISSION COMPLETE▶

MISSION COMPLETE

TRY AGAIN

各ミッションにおいて目標撃墜率に達した場合のみ次のミッションに進む事ができます。その目標撃墜率は、ミッション指令に従ってください。特に指示がない場合は、5割以上を目標とします。

GAME OVERについて▶



クレジット機が無い場合、下記条件でゲームオーバーとなります。
①敵機からの攻撃を受け自機が爆発した場合
②HARDモードで搭載燃料が無くなった場合

クレジットの増加▶

各ミッションにおいて一定基準以上の敵機を撃破した場合にはボーナスポイントとしてクレジット機が1機増えます。

勲章▶

各ミッションにおいての活躍に応じて、勲章が与えられます。
①各ミッションで9割以上の撃墜率に達した場合
②敵のリーダーを撃墜した場合

MISSION GUIDANCE

MISSION 1 (K1-K2)▶

敵はK7基地に核ミサイル発射施設を建設している。この施設の完成より早く施設を占拠、もしくは破壊することが今回の作戦目的である。その為には、前線に展開する各基地を順次攻撃していくのが最善の方法である。まず第一攻撃目標をK2基地とする。K2基地は山合いに存在する。高低差のある地形の為、的確な偵察飛行が必要になるであろう。また前回の極秘任務の影響で敵の防衛が強固になっているはずだ。味方支援機の通信を的確に判断し作戦を遂行せよ。

MISSION 2 (K2-K3)▶

K2基地が制圧されたことはK3基地の敵部隊にも伝わっているはずだ。我部隊の情報によると、山間より谷を抜け海岸線からの攻撃がベストである。敵は戦闘ヘリを基地周辺に警戒飛行させている。これを撃破後基地制圧に向かう。敵基地からの対空砲に十分気をつけて今回の作戦に望んでもらいたい。

MISSION 3 (K3-K5)▶

我が軍の被害も少なくK3基地を制圧できた。敵は、短時間でK2、K3基地を落した我々の存在を脅威と認識したのか主力をK5基地に集結し始めたとの情報がはいった。よって地上部隊はK4基地を、攻撃ヘリ部隊はK5基地制圧に向かう。この作戦が成功すれば、我が軍は島の半分を制圧することになる。心して臨んでもらいたい。

MISSION 4 (K5-K6)▶

諸君の努力によって我々は島の半分を制圧することができた。かの「砂漠の嵐作戦」よりも作戦は順調である。しかし敵の核ミサイル発射施設の建設も気がかりである。K6基地に存在する敵機をできる限り撃破しK7基地への足掛かりとしてほしい。諸君の好運を祈る。

MISSION 5 (K6-K6)▶

諸君の努力により我々は島の90%を手中に収めることができた。残るはK7基地だけである。しかし、直接攻撃をしかける前に周辺の偵察、及び付近の残存兵力にダメージを与える必要がある。作戦飛行距離が長いので間違っても墜落などしないように気を付けて作戦に赴いてほしい。

HI-ROLLER BATTLE

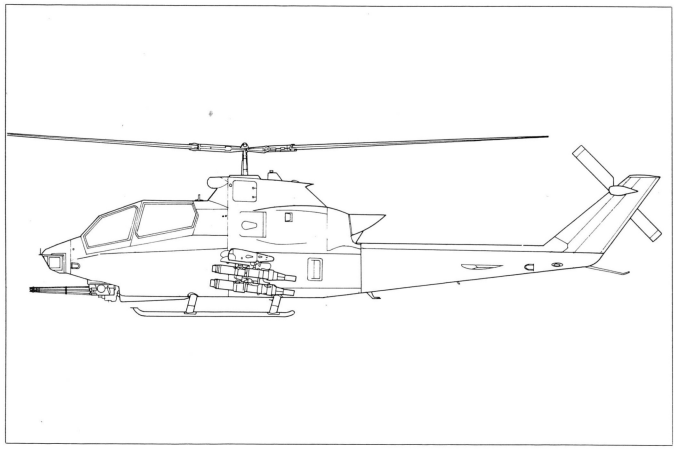
MISSION 6 (K6-K4)▶

K6基地制圧を祝いたい所だが、状況が変わった。地上部隊が制圧に向かったK4基地が敵の残存兵力によって奪回された。このK6基地に関しても敵は制圧されるとわかった時点で基地を破壊するといった強行手段を打ってきている。われわれは再度K4基地に向かい後方の脅威を廃絶しなければならない。明らかに敵は、動揺している。我々の勝利は目前に迫っている。しかし追い詰められた獲物は何をするかわからない。今以上の慎重な行動によって作戦についてもらいたい。

MISSION 7 (K4-K7)▶

K6基地は破損がひどく、ここK4基地を最終拠点とした。偵察の結果、南西に広がるバレー地区よりの奇襲攻撃が最も効果的と判断した。敵の核ミサイル発射施設の完成も間近に迫っている。しかしK7基地を制圧すれば「ジェイ国」の野望も終わりを迎える。K7基地はこれまでのどの基地よりも高い攻撃力と防御力を温存している。いずれにしても、いままでの作戦の成果が結果となるであろう。

各兵装の一般説明▶



①**ユニバーサルターレット(M97)**：全長183センチ 重量60キロ 有効射程距離1500メートル 最大750発 攻撃力02 命中率0～100%

②**4連装発射ターレット(TOW)**：全長117センチ 重量18キロ/144キロ 有効射程距離3750メートル 最大8発攻撃力30 命中率94%

③**ロケット弾ターレットM200ポット(HPX)**：重量65.9キロ 最大38発攻撃力18 命中率50%

④**多目的ミサイルシステム(MLMS)**：重量45.9キロ 最大4発攻撃力30 命中率94%

⑤**発煙弾(SMK)**：敵機が機銃攻撃を仕掛けて来たとき射出する（自機の回りに煙幕を張り敵機を攪乱する）

⑥**レーダー(ALQ-136)**：レーダー誘導用兵器が射出され500～1000メートルの距離に接近したとき射出する（妨害電波でレーダー誘導用兵器を妨害する）

⑦**チャフ(M-130)**：電子誘導用兵器が射出され500～1000メートルの距離に接近したとき射出する（妨害電波で電子誘導用兵器を攪乱する）

⑧**赤外線(ALQ-144)**：赤外線誘導用兵器が射出され500～1000メートルの距離に接近したとき射出する（赤外線誘導用兵器を妨害する）

STAFF▶

VIDEO MATERIAL：Ball 944 system
VIDEO ENGINEER：Tomonori Furusako(QTEC)
MA：Masao Kiyota (QTEC)
VIDEO STUDIO：QTEC
PROGRAM MANAGER：Tadashi Sekiguchi (CRC)
PROGRAMMING：Nobuyuki Umebayashi (CRC)/Masakazu Matsuki(CRC)
MISSION CHIEF PILOT：Yuji Katoh (CRC)
MISSION PILOT：Norikazu Kohno (CRC)/Tomoko Yamada(CRC)
COMPUTER GRAPHIC：Atsushi Takahashi(CRC)/Yasuaki Nagami (A & L)/Mitsuhiro Kanaya (QTEC)
JACKET DESIGN：Hiroki Suzuki
SOUND：Sound M's
SPECIAL THANKS TO：Roland Corporation/JAPAN GROUND SELF DEFENSE FORCE
DIRECTOR：Jimmy H.Nakamura (CRC)
CO-DIRECTOR：Narumi Kurisu (CRC)
PRODUCER：Jimmy H.Nakamura (CRC)
EXECUTIVE PRODUCER：Kimihiko Sugano(PIONEER ELECTRONIC CORP.)

© PIONEER ELECTRONIC CORP. 1993 / © CRC Research Institute, Inc.1993

本ソフトを使用される場合は、極力疲れた状態で使用することはさけ、テレビ画面からできるだけ離れてプレイしてください。長時間プレイする場合は、健康のため、1時間ごとに10～15分の休みをとってください。

強い光りの刺激や、光の点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に、一時的に筋肉のけいれんや、意識のそうしつ等の症状を経験したことのある人はテレビゲームをすることで、ごくまれに同様な症状になる可能性がありますので、事前に医師に相談してください。また、万一このような症状がおきた場合には、すぐにゲームを止め医師に相談してください。

ひび割れや変形、または接着剤で補修されたディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。又、レコードスプレー、静電気防止剤等の使用は、ひび割れの原因になります。

このソフトをお楽しみになる場合は、プロジェクションテレビをご使用にならないでください。プロジェクションテレビをご使用になると内部のブラウン管に画像焼きつきが発生することがあります。

このディスクをレンタルすること、及び無断でビデオテープ等に複製することは、法律で禁止されており、違反行為に対しては刑事罰が規定されています。

ご使用後は必ずプレーヤーから取り出して、ジャケットに納めてください。直射日光の当たる所、高温・多湿の場所には保管しないでください。

この商品は、㈱セガ・エンタープライゼスが、「メガ-LD」専用のソフトウェアとして、自社の登録商標である SEGA の使用を許諾したものです。

このディスクは「メガ-LD」専用ディスクです。再生のためには専用プレーヤーシステムが必要になります。